

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20UP
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: 神経活動のビックデータ解析法を用いた化合物が引き起こす痛みおよび依存症評価法の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 鈴木 郁郎(東北工業大学)

評価結果の総合所見

本課題は、医薬品候補化合物や化粧品成分の有効な化合物の痛み、依存症評価法の確立に向け、電極 CMOS-MEA 等によって得られた神経活動のビックデータを多変量解析や AI 解析を用いることで、化合物が及ぼす痛みおよび依存症を予測できる評価法の開発を目指すものである。

概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に十分な成果が得られている。イノベーション創出が大いに期待できる。

痛みの強度と作用を予測する方法が構築できたこと、また、依存性評価手法の構築に繋げることができたことは非常に高く評価できる。企業との共同研究や受託研究も 10 件以上締結していることから、今後の展開が大いに期待できる。

以上